

父に捧げる初優勝

目標のタイトルを奪取

3バーディー、4ボギーの73

日本経済大1年の満潮一未



雨の中、3バーディー、4ボギーの73での栄冠。出だしの1番ミドルでカラーからの3mのバーディーを沈めてリズムに乗った。上がりの17、18番で連続ボギーを叩き、終わってみれば、2位に1打差での初優勝だ。「これに勝つのが目標だったので達成できて嬉しい。中学からの目標でした。父が一番喜んでくれるでしょう。『俺のお陰』『73で喜ぶな』と言われそうですが」と満潮が18歳の笑顔を見せた。

父・辰一郎さんはアマチュアでは名前の知られたプレーヤー。満潮は辰一郎さんの影響で6歳からゴルフを始めた。その父が3年前、九州ミッドアマで2位タイとなり、九州代表と

して全国大会へ出掛けるその日に病に倒れたという。「あの時はびっくりしました。今は少しずつ良くなっています。ゴルフをしたがっていますね」と辰一郎さんの近況を話した。

満潮は福岡市の中村学園女高から現在は日本経済大経済学部商学科に籍を置く。実家が営む食品会社（福岡市）の手助けになるように、とビジネス関係の学部に進んだ。それも父への思いからである。「学生まではゴルフをしようと思う。ゴルフだけでなく、勉強もしたい」とこれからのプランを描く。



九州女子学生を制したことで8月の日本女子学生の出場権を手に入れた。「攻めるゴルフをしたい」と大会への抱負を語った後、最後に「父と一緒にゴルフをやりたい」と親子でのラウンドを楽しみにしている。

2位の長崎国際大2年・河野あずみ（74で優勝に1打届かず）「雨は苦手です。やるが多くなってプレーに対して考える時間が少なくなるし、丁寧にできなくなる。そんな中で頑張ったかな、とも思います。これは負けたけど、まだ日本学生に出られるチャンスがあるので、この後の試合を頑張りたい」

最上級生で初優勝

九州アマのリベンジ果たす

通算1アンダー、143

東海大九州4年の奥村栄史郎



【東海大九州が上位独占 左から3位・平井、優勝の奥村、2位・井戸川】

わずか1週間の復活である。奥村は5月25日からの九州アマ(若松GC)で初日84とスコアを乱し、2日目は73と盛り返したが、予選カットラインに1打足りずに決勝ラウンドに進めなかった。「相当ショックでした。落ち込みました」。大学生最後の九州アマで気合が入りすぎて空回りした。ただ、気持ちの切り替えも早かった。「今年プロテストを受けるんだから、落ち込んでいる暇はない」と九州学生に目標を絞る。予選落ちした1週間後の大会で時間がなかったことも奥村には幸いしたかもしれない。

男子は1日36ホールの戦い。ピンの位置が変わらずに2度回る。「全体的にはショットが良かった。同じラインに運べるし。パターン化しましたね」。2ラウンドで奥村が奪ったバーディーは9個。そのうち3、6、10、14番では連続してバーディー。ただ反省もある。2ラウンド目に4、11番でダブルボギーを叩いているが、今後のことを考えるとミスはボギーまでで抑える必要がある。



熊本市出身で東海大星翔高を卒業して現在に至るが、熊本県内の大会を制したことはあるものの、「九州」という冠のついたタイトルは初めて。今回の優勝で日本学生への出場を決めた上に、6月17日からの九州オープン（佐賀クラシックGC）への出場権も得た。「大学1、2年の時に出て予選落ちしているし、何としても出たかった。九アマのお返しもしたいですね」。最終学年での集大成へ向け、奥村がネジを巻く。

2位の東海大九州3年・井戸川純平（74・72の通算2オーバー、146で首位に3打差）「1m以内のパットが…。50cmを2回外した。それがなければ優勝の可能性も。タラレバですけど。でも、優勝争いの中でプレーできたのは満足です。（出場権のある）日本アマに自信を持って臨めます」



コース内には時折、鹿の姿が見受けられる

クラブハウス



